

TAKE FREE

2025

夏
号

まなびん

まなみーる岩見沢市民会館・文化センター広報誌

manabin

vol. 52



審査員・^{ふなおか ひるゆき} 船岳 紘行 さん
(画家 / 北海道教育大学岩見沢校准教授)
よりお話を伺いました

第2回 いわみざわ 絵画大賞展

応募期間 8/ SAT 23 ▶ 8/ SUN 31
9:00-17:00
送付の場合 ▶ 令和7年8月27日必着

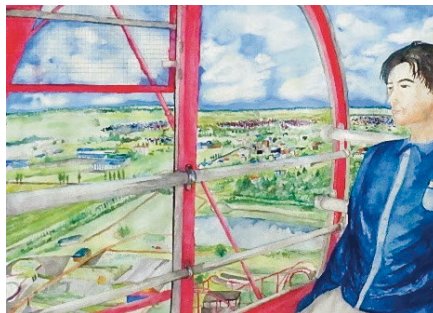
展示会期 9/ SAT 27 ▶ 10/ SAT 11

【展示会場】まなみーる岩見沢市民会館

—— 前回の絵画大賞展を振り返って

第1回目の絵画大賞展では、初めての開催ということもあってか、一般部門は道内の出品者が9割近くを占め、応募総数は64点、入選者数は45人、受賞者数は16人となりました。作家自身の内面を描いた作品、身近な風景を描いた作品、家族を描いた作品など、非常にバラティード豊かな力作が集まりました。「いわみざわ絵画大賞」を受賞した山崎麻乃さんの「しずんで」は、分裂と結合を繰り返すアメーバのような視覚世界が表現されており、画面の隅々まで言い切る描写力は見事で大賞にふさわしい秀作であると高く評価されました。

子ども部門の応募総数は181点(幼稚園・保育園2点、小学生168点、中学生11点)受賞者数は16人となりました。応募者の年齢が大きく異なることから、発達段階の違いを十分に考慮しながら審査を行いました。テーマである「岩見沢」の魅力が詰まった作品が多く集まりましたが、その中でも「岩見沢市教育長賞」を受賞した新居愛子さんの「観覧車から見る岩見沢」は、緑豊かな岩見沢を赤い観覧車から見渡すという大胆な構図と鮮やかな色彩対比で特に目を引きました。



子ども部門市教育長賞 /
新居愛子さん『観覧車から見る岩見沢』



一般部門大賞・市長賞 / 山崎麻乃さん『しずんで』

—— 今回応募を考えている方への メッセージ

一般部門は、第1回と同じくテーマは自由です。何を描けばよいか迷われている方もいるかもしれません。作者自身の体験や、描かれたモチーフやモデルに対する想いなどは、観る人に伝わるものです。何気ない日常の中にも絵になる素材がたくさん潜んでいます。ご自身の普段の生活の中で出会う様々な物事とじっくりと向き合い、その中からグッとくる何かを見つけるのもいいと思います。絵の世界に「こうしなければならない」というものはありません。感じ方にも正解はありません。ご自身が「面白い」「美しい」と感じたことを大切に、思い切りそれを絵画で表現していただければと思います。子ども部門は、「岩見沢」をテーマとした作品を募集します。詳細については岩見沢市のホームページをご覧ください。第1回では応募数が少なかった中学生にも積極的にチャレンジしてもらいたいと期待しています。

絵画大賞展について

「いわみざわ絵画大賞展」のはじまり

令和5年に岩見沢市開庁140年・市制施行80周年および北海道教育大学岩見沢校創立100周年記念事業として、市・市教委・大学との共催による「いわみざわ芸術文化・スポーツの祭典」が開かれ、この祭典イベントの一つとして、第1回いわみざわ絵画大賞展を開催いたしました。

「芸術文化のまちづくり」を基本施策として掲げる本市において、芸術文化の定着をより一層進めていくことを目的として始まりました。

第2回目となる今回、 前回から変わった点について

一般部門においては新たに出品料を設定し、大賞の賞金を前回の10万円から30万円に上

げることで、出展数の増加とレベルの高い公募展を期待しております。

子ども部門においては今回も出品料は無料となっており、専用の応募用紙に描いていた点以外は、変更点はございません。

この展覧会を通じて 市民に感じてほしいこと

出展者には、一般部門は入選作品を、子ども部門はすべての作品をまなみーるにおいて展示し、9月27日(土)に予定しております表彰式の後に、審査員の先生から個々の作品に対する講評を通して、個人のさらなるレベルアップに向けて取り組んでいただきたいと思います。

また、鑑賞される方々には、優れた作品の

数々をたくさんの方にご覧いただき、出展される方、鑑賞される方双方の盛り上がりをはじめ、文化振興の定着と芸術や文化・スポーツに特化した教育大学岩見沢校との連携事業として、まちの特色を活かした取組みとして認知度を高めたいと考えております。

主催

いわみざわ絵画大賞展実行委員会

- ・岩見沢市
- ・岩見沢市教育委員会
- ・北海道教育大学岩見沢校

応募方法・詳細はこちら ▶



どなたでもお越しください！

コープさっぽろ カルチャーフェスタ

9月20日土・21日日

入場
無料

展 示

20日(土) 12:00～18:00
21日(日) 10:00～16:30

ステージ

21日(日) 13:00～15:30

むかいがわ

コープさっぽろ生活文化事業部 向川さんにお話を伺いました！

Q. カルチャーフェスタって？

全道各地で行っている文化教室の一大イベントです。岩見沢南文化教室は単独で年に1回行っており、講座を学んでいる受講生・講師の皆さんによる、作品展示やステージ発表の場として取り組んでいます。毎年30講座以上、延べ210名の参加者となり学ぶ楽しさと達成感を味わっていただきます。まだ文化教室を知らない方へのアピールとこれから学ぼうとする方への意欲向上も目指しています。



Q. みどころを教えてください！

展示は、手芸、工芸、絵画、書道など様々なジャンルで受講生の作品を中心に、講師の作品も並び見ごたえのあるラインナップとなっています。ステージ発表では、主にダンスが中心ですが、ピアノや楽器の発表、マジックなど、バラエティに富んだ発表会となっています。特にダンスは砂川教室も含めて4人の講師が担当、それぞれにダンスジャンルが違うため、見応えがあり大いに盛り上がります。



～来場される方へのメッセージ～

受講生の日頃の頑張りの成長も十分に楽しんでいただける内容ですし、講師の作品や出し物は見応えがあります！「何か習い事をしたい」「文化教室ってどんな事をやっているの？」と思われる方にも是非この機会にお越しいただきたい内容です。土日のイベントですので、ご家族やお友達とぜひ足を運んでいただきたいと思います。お待ちしております！

開催告知

まなフェス 2025

音楽

&

美術

アート
フェスティバル

2025.9.20 土

まなみーる岩見沢市民会館・文化センター
(岩見沢市9条西4丁目1番地)

今年はコラボ開催!

岩見沢緑陵高校 吹奏楽部

楽器体験会

楽器体験会では、普段触れる機会の少ない楽器から定番の楽器まで幅広く体験できます。高校生によるアンサンブル演奏も披露され、実際に音を奏でた楽器がどのような音楽になるのかを楽しむことができます。

北海道教育大学岩見沢校 美術文化専攻生 マルシェ

岩見沢市を舞台とした、美大生によるマルシェの第一段!個性光るアーティストたちの作品を購入できます。もしかしたら、一期一会の出会いがあるかも?

ざわめきの中から、「推し作品」を探し出してみませんか。

詳細は後日HPで発表!

お問い合わせ

まなみーる岩見沢市民会館・文化センター 0126-22-4233

まなみーるの七夕
まなばた

7月7日～8月7日まで

今年もまなみーる内1Fロビーで「まなばた」を開催します。紙に願い事を書き、想いを込めて飾りつけましょう!みなさまの素敵な願い事が叶いますように♪



「まなびん」とは

音楽、芸術、アート、まなみーるでのイベントなどをお客様に届けたい。そんな思いを込め、まなみーる便、略して「まなびん」と名づけました。年4回・4月、7月、10月、1月の発行となります。

まなみーる岩見沢市民会館・文化センター

〒068-0029 北海道岩見沢市9条西4丁目1番地1 TEL 0126-22-4233 / FAX 0126-25-9092

営業時間 9:00～22:00 休館日 年末年始(12月29日～翌年1月3日)

WEBサイト・各種SNSはこちら

公式WEB



X (旧 Twitter)



Instagram



JR 函館本線 岩見沢駅下車 徒歩約15分
バス 駅前バスターミナルから中央バスで「市民会館前」下車 徒歩約2分

発行

NPO 法人ハマナスアート (まなみーる岩見沢市民会館・文化センター指定管理者)

